

発達障害児者と家族が安心して暮らしていける地域社会の実現に向けて

～地域の強みと課題を見える化し、一歩踏み出すために～



第Ⅰ部（オンデマンド） | 令和5年12月13日～令和6年3月31日

第Ⅱ部（ライブ配信） | 令和6年1月31日（水）15:00～17:15



WEB開催

第Ⅰ部 基調講演（オンデマンド）

発達障害のある子どもと家族を支援するための
地域支援体制づくりに向けて
～Q-SACCSを使った地域診断と、地域ケアパスの作成に向けて～

講師：本田 秀夫 先生 信州大学医学部 子どものこころ発達医学教室
長野県発達障がい情報・支援センター センター長



第Ⅱ部 講演（ライブ配信）

Q-SACCSを用いた地域での支援体制づくりについて

講師：今出 大輔 氏 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官

参加資格 第Ⅰ部（オンデマンド） | ①を満たす方
第Ⅱ部（ライブ配信） | ①および②を満たす方

- ① 発達障害児者支援に従事している者および行政職員（都道府県・政令指定都市以外）で、関連情報（Q-SACCS）サイトを受講迄に視聴することが可能な者
- ② 発達障害者支援センター職員、発達障害者地域支援マネージャー、行政職員（都道府県・政令指定都市）

Q-SACCS
関連情報サイト



セミナー参加費 無料

お申込み

下記URLもしくは右記QRコードよりお申込みください

URL：<https://hattatsu.go.jp/2023seminar01/>

★第Ⅱ部の申込締切日が早くなっておりますので、ご注意ください

申込締切

第Ⅰ部 令和6年3月20日（水）

第Ⅱ部 令和6年1月24日（水）



【お問い合わせ】 国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部

発達障害情報・支援センター（与那城、石坂）

TEL：04-2995-3100（内線2590／2596）

E-MAIL: hattatu-isc@rehab.go.jp

発達障害児者と家族が安心して暮らしていける地域社会の実現に向けて
～地域の強みと課題を見える化し、一歩踏み出すために～
＜プログラム＞

■【第Ⅰ部】令和5年12月中旬(予定)～3月31日(水) (オンデマンド配信)

5分	開会の挨拶 山脇 かおり 発達障害情報・支援センター センター長
約95分	【行政説明】 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 地域生活・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 西尾 大輔 氏 文部科学省 特別支援教育課 特別支援教育調査官 加藤 典子 氏 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 障害児支援専門官 杉本 拓哉 氏 【情報提供】 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター
90分	【基調講演】 発達障害のある子どもと家族を支援するための地域支援体制づくりに向けて ～Q-SACCSを使った地域診断と、地域ケアパスの作成に向けて～ 講師：本田 秀夫 先生 信州大学医学部 子どものこころ発達医学教室 長野県発達障がい情報・支援センター センター長

■【第Ⅱ部】令和6年1月31日(水) 15:00～17:15 (当日のライブ配信のみ)

120分	【講演】Q-SACCSを用いた地域での支援体制づくりについて 講師：今出 大輔 氏 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 【座談会】 Q-SACCSを活用した市町村支援を既に取り組んでいる自治体と、これから本格的に取り組みたいと考えている自治体のグループにわかれて意見交換 【コメント】 厚生労働省（山根発達障害施策調整官、西尾発達障害対策専門官） 【まとめ】 こども家庭庁（今出発達障害児支援専門官）
10分	事務局より連絡、閉会